

日本語日本文学専攻（修士課程）

【教育研究上の特徴・目的】

本専攻には日本古典文学、日本近現代文学(比較文学を含む)、日本語学、日本語教育学という多岐にわたる研究領域がふくまれている。日本文学分野では、上代・中古・中世・近現代文学の研究や外国の文学・思想との比較研究を行う。日本語学分野では、現代日本語の文法研究や類義表現等の意味・用法の研究、方言や言語政策など現代日本語の調査研究、日本語教育に関連した実践的理論的研究を行う。本専攻の特徴は、これら多様な領域からのアプローチによって、日本語と日本文学を総合的に研究してゆくことにある。

教育基本方針

甲南大学大学院人文科学研究科日本語日本文学専攻修士課程では、日本語学、日本古典文学、日本近現代文学の各研究領域に関し、文献調査と資料分析についての基礎的な研究方法を修得し、日本語・日本文学の分野における研究能力を養うとともに、高度の専門性が求められる職業において必要とされる卓越した能力を培います。また、組織的な研究指導体制のもとで、広い視野に立った学識と高い倫理観を身につけた学生を育てるべく、建学の精神を生かした人物重視の教育を行い、修士(文学)の学位授与に導きます。

修了認定・学位授与の方針

甲南大学大学院は、大学院学則第1条に定める、甲南大学の教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的としています。

人文科学研究科日本語日本文学専攻においては、本研究科及び本専攻の教育基本方針のもと、下記の能力・資質を身につけ、社会及び学術の発展・向上に寄与できる人材の育成を教育目標とします。課程の修了にあたっては、本研究科の定める期間在学し、本専攻が定める修了必要単位を取得のうえ、論文等の審査及び最終試験に合格した者に修士(文学)の学位を授与します。

【修士課程】

- (1) 日本語・日本文学研究の包括的な理論と精緻な文献・資料の分析に基づく研究によって、高度専門職業人として必要な研究能力を有しています。
- (2) 高度専門職業人として日本語・日本文学研究の発展に貢献する能力を持ち、高い倫理観を備えています。

教育課程編成・実施の方針

人文科学研究科日本語日本文学専攻では、学位授与の方針に掲げる能力・資質等を修得させるために、必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習を適切に実施します。また、学位論文等の作成に対する指導を行います。加えて、修了認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。カリキュラムは、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を検証することにより、組織的かつ定期的に見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、評価については以下のように定めます。

【修士課程】

1) 教育内容

- (1) 日本語学、日本古典文学、日本近現代文学の各研究領域に関する高度専門職業人として必要な研究能力を習得するため、組織的な研究指導体制のもとで、専門的知識・技能を習得する教育課程を編成し、実施します。
- (2) 「日本文学演習」や「日本語学演習」において、広い視野に立った学識と高い倫理観を身につけた学生を育てるべく、人物重視の教育を行います。

2) 教育方法

- (1) 修士課程の教育は、1)に掲げた教育内容を、授業及び研究指導によって行います。
- (2) 授業は、講義及び演習により実施します。
- (3) 研究指導は、日本語学演習、日本文学演習により1年次から継続して実施します。

3) 評価

- (1) 単位の認定については、大学院学則第9条に基づき、筆記試験、口述試験、報告等及び各科目のシラバスに定める方法によって学期末又は学年末に評価します。
- (2) 修士論文及び修士論文に代わる研究成果物の審査並びに最終試験は、本専攻の定める審査基準に基づく方法により行い、その結果に基づき合否を判定します。

カリキュラムマップ

到達目標

対応する修了認定・
学位授与の方針の
番号

A	先行研究を踏まえた上で、自らの問題を発見することができる能力	(1)
B	目的に応じた精緻な文献・資料の調査能力	(1)
C	広い視野から多角的に研究する能力	(1)
D	日本文化の幅広い教養	(1)
E	論理的に思考し、独自の考察を展開する能力	(1)
F	研究の成果を、適切な文章で表現する能力	(1)
G	資料調査、学会などで周囲と協調しながら研究を企画し進めていく調整力	(2)
H	研究内容を実人生や実社会とつなげて考え、自らの人格を陶冶する力	(2)
I	高い日本語運用能力を生かし、社会に貢献できる倫理と行動力	(2)
J	学際的な知見にもとづく応用力	(2)

授業科目表（日本語日本文学専攻(修士課程)）

[2021年度(令和3年度)の入学生に適用]

授業科目名		単位数	到達目標										
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
専 門 科 目	必修	特定研究	2	○	○	○		○	○	○	○	○	
	必修 A	日本文学演習Ⅰa	2	○	○			○	○	○		○	
		日本文学演習Ⅰb	2	○	○			○	○	○		○	
		日本文学演習Ⅱa	2	○	○			○	○	○		○	
		日本文学演習Ⅱb	2	○	○			○	○	○		○	
	必修 B	日本語学演習Ⅰa	2	○	○			○	○	○		○	
		日本語学演習Ⅰb	2	○	○			○	○	○		○	
		日本語学演習Ⅱa	2	○	○			○	○	○		○	
		日本語学演習Ⅱb	2	○	○			○	○	○		○	
	選 択	日本文学演習Ⅲa	2	○	○			○	○	○		○	
		日本文学演習Ⅲb	2	○	○			○	○	○		○	
		日本文学研究Ⅰa	2		○	○	○				○		
		日本文学研究Ⅰb	2		○	○	○				○		
		日本文学研究Ⅱa	2		○	○	○				○		
		日本文学研究Ⅱb	2		○	○	○				○		
		日本文学研究Ⅲa	2		○	○	○				○		
		日本文学研究Ⅲb	2		○	○	○				○		
		日本文学研究Ⅳa	2		○	○	○				○		
		日本文学研究Ⅳb	2		○	○	○				○		
		日本文学特殊講義Ⅰa	2		○		○		○	○	○		
		日本文学特殊講義Ⅰb	2		○		○		○	○	○		
		日本文学特殊講義Ⅱa	2		○		○		○	○	○		
		日本文学特殊講義Ⅱb	2		○		○		○	○	○		
		日本語学演習Ⅲa	2	○	○			○	○	○		○	
		日本語学演習Ⅲb	2	○	○			○	○	○		○	
		日本語学研究Ⅰa	2		○	○	○				○		
		日本語学研究Ⅰb	2		○	○	○				○		
		日本語学研究Ⅱa	2		○	○	○				○		
		日本語学研究Ⅱb	2		○	○	○				○		
		日本語学研究Ⅲa	2		○	○	○				○		
日本語学研究Ⅲb		2		○	○	○				○			
日本語学研究Ⅳa		2		○	○	○				○			
日本語学研究Ⅳb		2		○	○	○				○			
日本語学特殊講義Ⅰa	2		○		○		○		○	○			
日本語学特殊講義Ⅰb	2		○		○		○		○	○			

授業科目名		単位数	到達目標										
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
専門科目	選択	日本語学特殊講義Ⅱa	2		○		○	○			○	○	
		日本語学特殊講義Ⅱb	2		○		○	○			○	○	
		日本語教育研究Ⅰ	2		○	○	○				○		
		日本語教育研究Ⅱ	2		○	○	○				○		
		国語科教育特殊講義Ⅰ	2		○	○	○				○		
		国語科教育特殊講義Ⅱ	2		○	○	○				○		
専攻横断科目		日本文学の主要問題a	2	○	○	○	○				○		
		日本文学の主要問題b	2	○	○	○	○				○		
		日本語学の主要問題a	2	○	○	○	○				○		
		日本語学の主要問題b	2	○	○	○	○				○		
		英語学の主要問題a	2			○					○		○
		英語学の主要問題b	2			○					○		○
		英米文学の主要問題a	2			○					○		○
		英米文学の主要問題b	2			○					○		○
		英米文化の主要問題a	2			○					○		○
		英米文化の主要問題b	2			○					○		○
		応用社会学の主要問題Ⅰ	2			○					○		○
		応用社会学の主要問題Ⅱ	2			○					○		○
		歴史学と地理学の主要問題Ⅰ	2			○					○		○
		歴史学と地理学の主要問題Ⅱ	2			○					○		○
		人間科学の主要問題Ⅰ	2			○					○		○
		人間科学の主要問題Ⅱ	2			○					○		○
		人間科学の主要問題Ⅲ	2			○					○		○
		人間科学の主要問題Ⅳ	2			○					○		○
		人間科学の主要問題Ⅴ	2			○					○		○
		人間科学の主要問題Ⅵ	2			○					○		○